

RESASから捉える 農業の六次産業化と道の駅



平成29年10月23日

はくい
石川県 羽咋市 総務部

羽咋市まち・ひと・しごと創生本部事務局

1. 羽咋市の概要

2. はくい式自然栽培米(羽咋米)のブランド化、6次産業化に向けた現状と課題、方向性

3. 「道の駅のと千里浜」を核とした交流人口の拡大及び地域経済の好循環に向けた現状と課題、方向性

はくいし 1. 羽咋市の概要

(1)羽咋市の紹介

- 人口 22,141人
- 世帯数 8,527世帯
- 高齢化率 37.3%
(H29年9月1日現在)

- 市の面積 81.85km²
(石川県面積の1.96%)
※市全体がコンパクト



千里浜なぎさドライブウェイ
トリップアドバイザーアワード2016
「日本のベストビーチ」第1位！



白鳥



世界農業遺産
「能登の里山里海」 棚田



気多大社

国の重要
文化財指定



妙成寺



唐戸山神事相撲



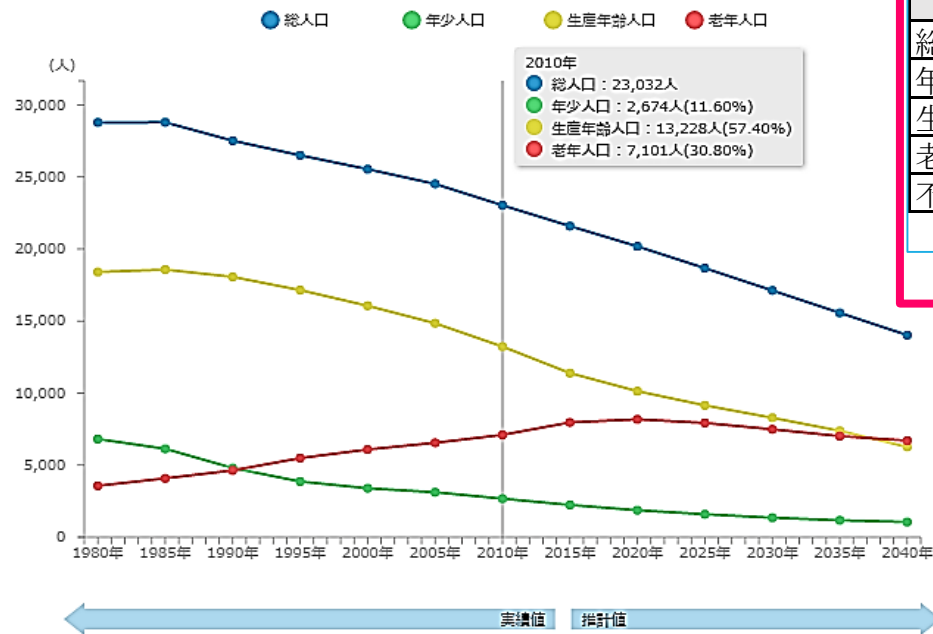
朱鷺



(2) 羽咋市の人口構造

人口推移

石川県羽咋市



【出典】
総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】
2010年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2015年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。
総人口については、年齢不詳は除いている。

単位: 人/％

区分	人口	割合
総人口	21,729	
年少人口	2,272	10.5%
生産年齢人口	11,340	52.2%
老年人口	7,922	36.5%
不明者	195	0.9%

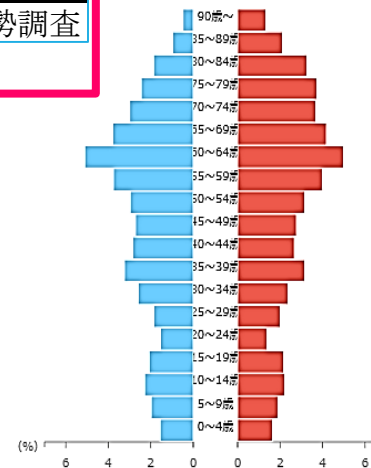
平成27年国勢調査

人口ピラミッド

石川県羽咋市

2010年

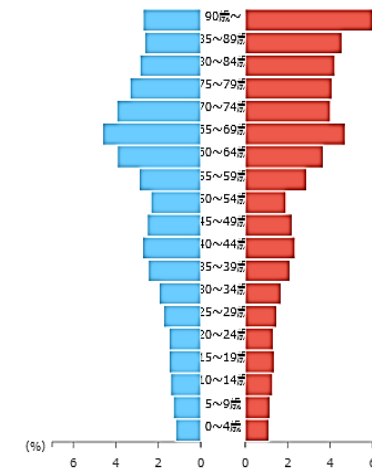
■ 男性 ■ 女性



老年人口 (65歳以上) : 7,101人 (30%)
 生産年齢人口 (15歳～64歳) : 13,228人 (57%)
 年少人口 (0歳～14歳) : 2,674人 (11%)

2040年

■ 男性 ■ 女性

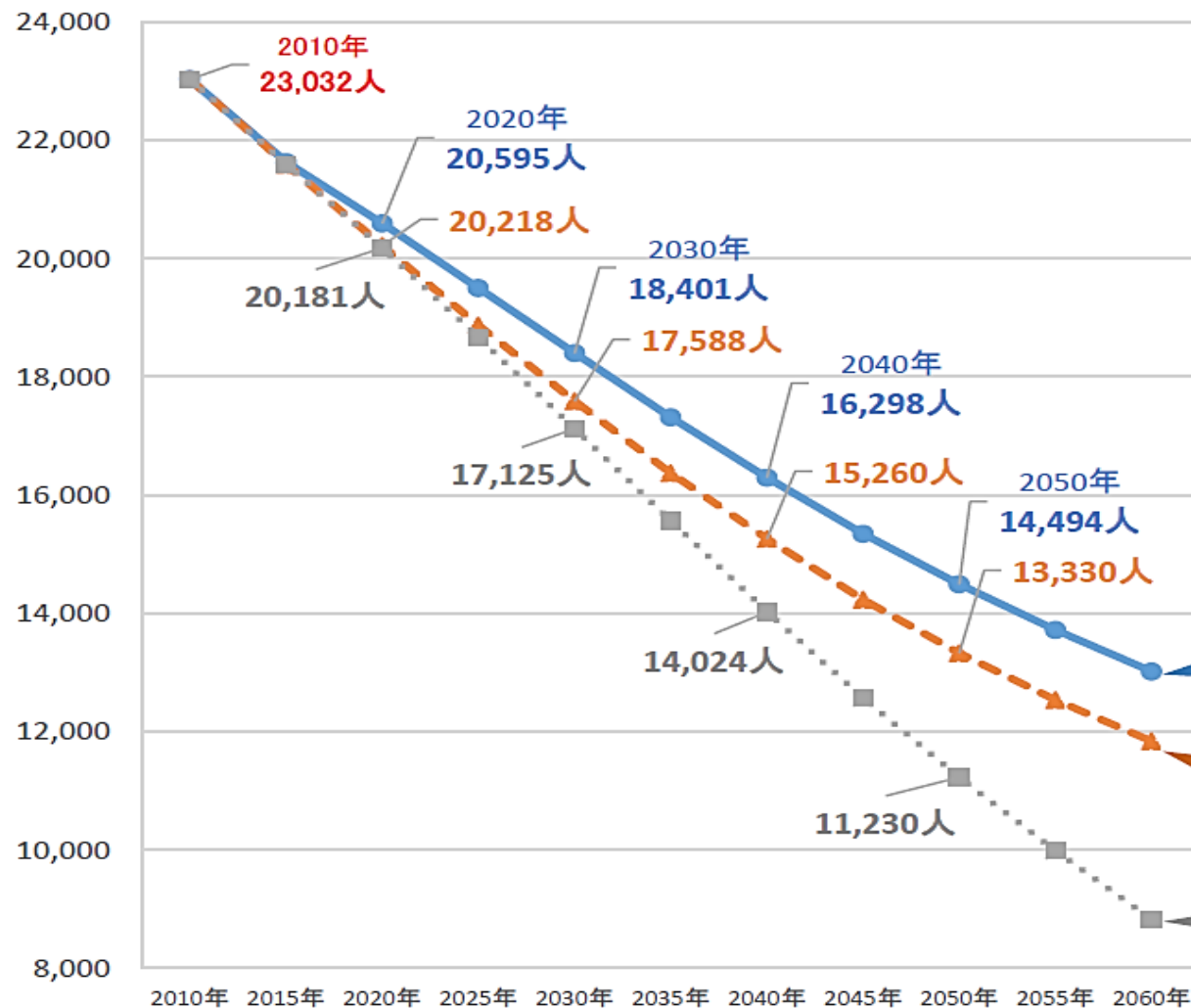


老年人口 (65歳以上) : 6,702人 (47%)
 生産年齢人口 (15歳～64歳) : 6,269人 (44%)
 年少人口 (0歳～14歳) : 1,054人 (7%)

- ①国勢調査（平成27年） 羽咋市の総人口は21,729人。このうち3分の1以上は、65歳以上の高齢者
- ②国立社会保障・人口問題研究所の推計では、老年人口は2020年にピークとなる8,173人、その後減少し、2040年には6,702人
- ③2040年には、老年人口が生産年齢人口を上回り、生産年齢人口1人が老年人口1人以上を支えることが必要

(3) 羽咋市人口ビジョン (H27.10月策定)

2060年(平成72年)までの羽咋市の総人口の『将来展望』推移



人口の短期的展望 (目標人口)

2020年の目標人口 約20,600人

人口の長期的展望 (目標人口)

2060年の目標人口 約13,000人

2060年

羽咋市の将来展望
13,019人

国の長期ビジョン
11,840人

社人研推計(※)
8,828人

2060年で
約4200人の差

—●— 目標人口 —▲— 国の長期ビジョン -●- 社人研推計

※ 国立社会保障・人口問題研究所



(5)経済産業省・中部経済産業局、金沢大学等と連携した
羽咋市のRESAS活用政策立案ワークショップ開催 (2017年2月28日)



2. はくい式自然栽培米(羽咋米)の ブランド化、6次産業化に向けた 現状と課題、方向性

【参考】ブランド米 米の食味ランキング上位銘柄

■米の食味ランキング 上位10銘柄

単位：円／玄米60kg税込、玄米トン

	産地	地区	品種名	価格 (平成28年12月)	数量 (平成28年12月)	円／1kgあたり
1	新潟	魚沼	コシヒカリ	20,893	2,561	348
2	山形		つや姫	17,929	2,921	299
3	山梨	峡北	コシヒカリ	17,371	440	290
4	北海道		ゆめぴりか	17,029	8,044	284
5	新潟	佐渡	コシヒカリ	16,997	2,797	283
6	新潟	岩舟	コシヒカリ	16,970	2,264	283
7	兵庫		コシヒカリ	15,324	664	255
8	富山		コシヒカリ	15,274	12,702	255
9	福井		コシヒカリ	14,869	14,869	248
10	石川		コシヒカリ	14,747	14,747	246

※日本穀物検定協会において公表される、「米の食味ランキング・特A」のうち価格上位10銘柄を抽出。

※価格及び数量は、農林水産省「平成28年産米の相対取引価格・数量(平成28年12月)(速報)」から抜粋。

産地品種銘柄ごとの価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格)を加重平均したものであり、数量は、同契約の数量の合計である。

①「魚沼産コシヒカリ」の価格は、玄米60kgあたり 20,893円 (348円／kg) であり、石川県産米14,747円 (249円／kg) との価格差は、6,146円 (102円／kg) 【1.4倍】

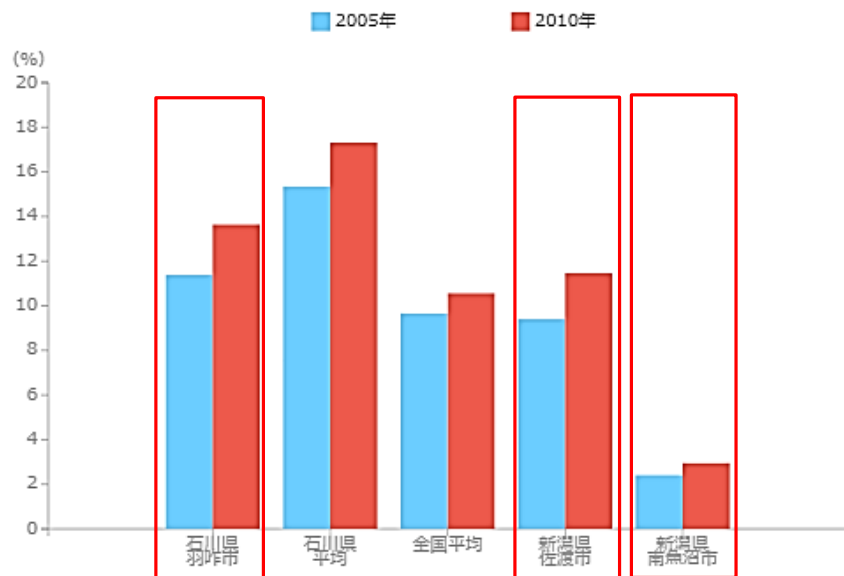
②環境保全型の佐渡産コシヒカリの価格は16,997円 (283円／kg)、石川県産米との価格差は2,250円 (37.5円／kg) 【1.2倍】

③石川県産米に羽咋米を含めて考えた場合、産地としての基礎評価は高い

(1)農地分析 耕作放棄地比較

耕作放棄地率

指定地域：石川県羽咋市



【出典】

農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】

耕作放棄地率 = (総農家の耕作放棄地面積 + 土地持ち非農家の耕作放棄地面積) ÷ (総農家の経営耕地面積 + 総農家の耕作放棄地面積 + 土地持ち非農家の耕作放棄地面積)

■耕作放棄地率

単位: %

団体名	羽咋市	佐渡市	南魚沼市	石川県	全国平均
2005	11.4	9.4	2.4	15.4	9.7
2010	13.6	11.5	3.0	17.3	10.6

- ①羽咋市の耕作放棄地率は、2005年は11.4%、2010年は13.6%となっており、2.2ポイント耕作放棄地が拡大
- ②羽咋市は、石川県の平均より耕作放棄地率は低いが、全国平均よりは高い
- ③南魚沼市は、2005年は2.4%、2010年は3.0%と放棄地率がかなり低い。

⇒ 米の価格が高価格であるため、農地が活用され、耕作放棄地が少ないと推測

(2)はくい式自然栽培による「羽咋米」の生産状況

■各地域のブランド米の比較

産地	羽咋市	佐渡市	南魚沼市
品名	羽咋米	朱鷺と暮らす郷	魚沼産コシヒカリ 特別栽培米
価格	玄米5kg 6,210円	白米5kg 3,024円	白米5kg 4,720円
平成28年度作付面積	14ha	1,270ha	550ha
平成28年度収量	32t	3,400t	1,536t

出典：羽咋米の価格は、羽咋まちづくり株式会社WEBサイトの金額を参照した。

佐渡市の朱鷺と暮らす郷の価格は、佐渡アンテナショップ（東京都千代田区丸の内）の金額を参照した。

南魚沼市の米は、魚沼産コシヒカリ特別栽培米の価格とし、新潟県アンテナショップ（東京都渋谷区）の金額を参照した。

佐渡市の「朱鷺と暮らす郷」の作付面積、収量については、JA佐渡からのヒアリングによる数値である。

南魚沼市の作付面積、収量については、JA魚沼みなみからのヒアリングによる数値である。

佐渡市、南魚沼市の収量の数値はJAの集荷量であり、全体の生産量ではない。

【参考】

■羽咋市ブランド米：はくい式自然栽培米「羽咋米」

羽咋市内において、肥料・農薬・除草剤を使わずに、自然の力を最大限利用して大切に育てた自然栽培のお米である。

■佐渡市ブランド米：「朱鷺と暮らす郷」

「朱鷺と暮らす郷」米とは、平成20年から佐渡市で始めた「トキと暮らす郷づくり認証制度」に該当する栽培方法で作られたお米で、生き物を育む農法を取り入れ、冬でも田畑に水をはり、生き物が住める環境を作っている。また、農薬・化学肥料も通常の半分に抑えているお米である。

■魚沼産コシヒカリ特別栽培米

魚沼産特別栽培米コシヒカリは、新潟県内で農薬の使用回数及び化学肥料の使用量を通常栽培の5割以下に削減して栽培された農産物を特別栽培農産物として新潟県が認証したお米である。

■羽咋米は、佐渡の「朱鷺と暮らす郷」、「コシヒカリ特別米」と比較して、羽咋米の1kgあたりの単価が佐渡市の2倍、南魚沼市の1.3倍。

■羽咋米の現況

	平成27年	平成28年
農業経営体数	8人	19人
作付面積	-	13.8ha
総販売金額	-	183万円
作付面積haあたり	-	132,608円
羽咋米 農家売渡価格	-	36,000円／俵
羽咋米 3kg	-	3,888円
羽咋米 5kg	-	6,210円
羽咋米 10kg	-	11,880円
羽咋米 1kgあたり	-	1,296円

出典：羽咋市

①羽咋米を生産する農業経営体は、
8人（平成27年）⇒19人（平成28年）と増加

②平成28年度羽咋米の農家売渡価格は36,000円であり、佐渡市16,997円、南魚沼市20,863円を大きく超えた高価格となっている

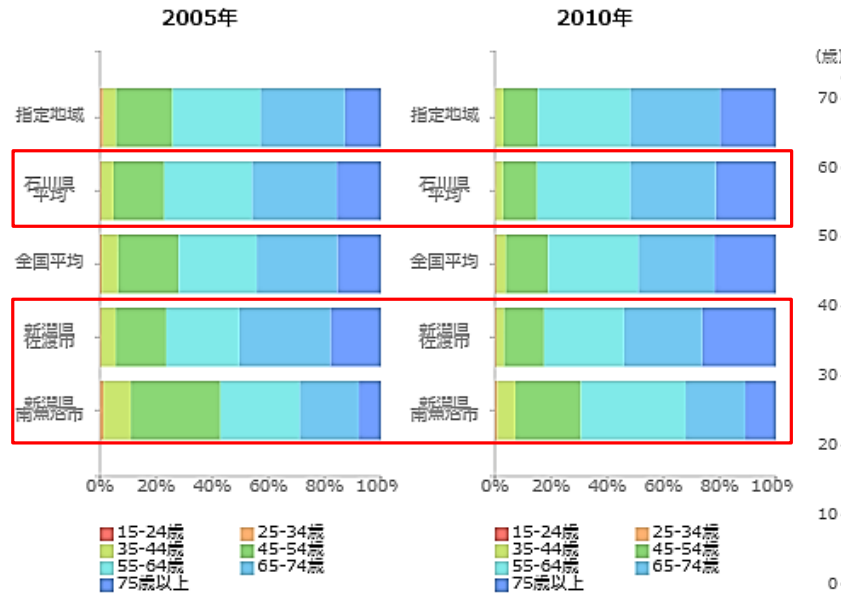
マーチャンダイジング（お客様に商品を買っていただくために、商品の企画・開発や調達、商品構成の決定、販売方法やサービスの立案、価格設定）が重要

(3) 農業者の状況 農業者分析

農業経営者の年齢構成

指定地域：石川県羽咋市

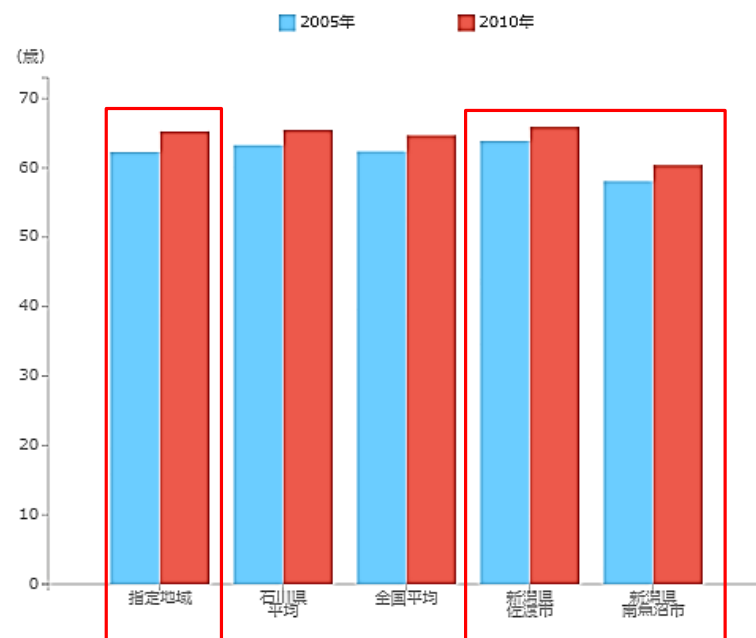
性別：総数



農業経営者の平均年齢

指定地域：石川県羽咋市

性別：総数



2010年 農業経営者の年齢構成

単位：%

年齢構成	羽咋市	佐渡市	南魚沼市	石川県	全国平均
15-24歳	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
25-34歳	0.3	0.5	0.8	0.3	0.5
35-44歳	2.8	2.8	6.4	2.6	3.4
45-54歳	12.3	14.1	23.3	12.1	15.1
55-64歳	32.8	28.5	37.3	33.2	32.1
65-74歳	32.0	27.8	21.2	30.5	27.2
75歳以上	19.8	26.2	10.9	21.4	21.7

平均年齢	65才	66才	60才	65才	66才
------	-----	-----	-----	-----	-----

「羽咋米」生産者の
平均年齢

51歳

【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】
農業経営者：当該農家の農業経営に責任を持つ者をいい、農作業に従事せず作業等の指示を行うだけの者も含める。
農業就業人口：農業従事者のうち、農業を主として従事した世帯員

【省】「農林業センサス」再編加工

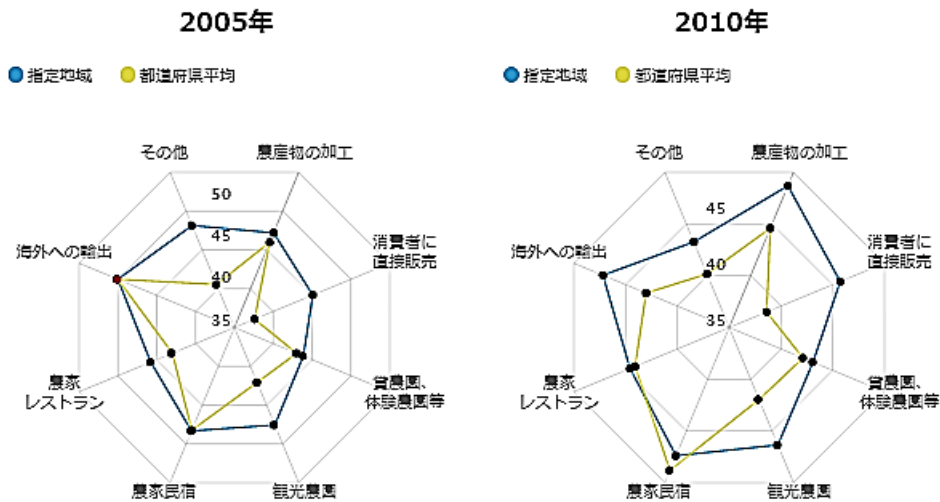
- ①羽咋市の農業経営者の年齢構成は、65-74歳が32.0%、75歳以上が19.8%、合計51.8%であり、就農者人口の半数以上が65歳
- ②佐渡市は、65-74歳が27.8%、75歳以上が26.2%、よって、65歳以上が54.0%であり、羽咋市よりやや就農者の高齢化が進行
- ③平均年齢をみると、南魚沼市は60歳、羽咋市は65歳となっており、平均年齢が5歳も若い。
- ④「羽咋米」生産者の平均年齢は51歳であり、本市の平均年齢（65歳）より14歳も若い

地域外から、羽咋市で自然栽培農産物の栽培を希望する若い就農者（移住者）が増加している。

(4) 6次産業化などの取組状況

農業生産関連事業の実施状況（レーダーチャート）

指定地域：石川県羽咋市

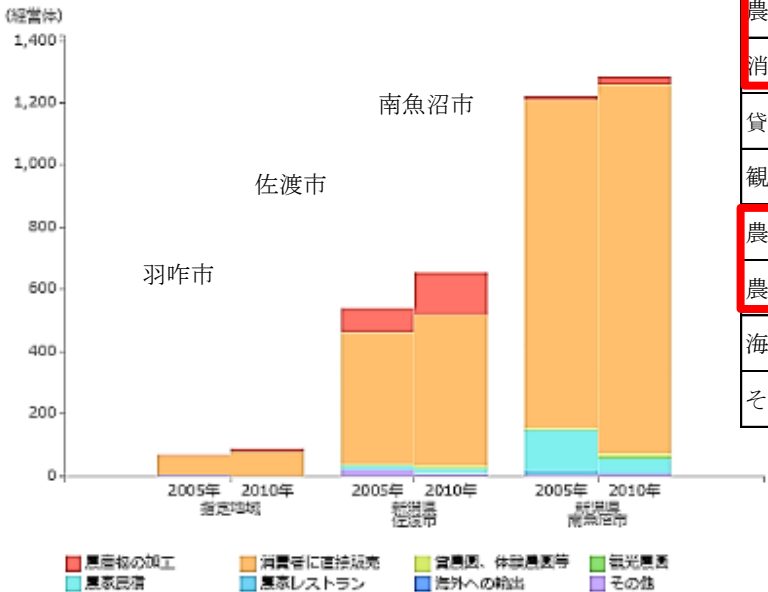


【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】
レーダーチャートは各関連事業を実施している経営体数を標準値化して表示。
秘匿値の場合は赤い点、データがない場合は青い点が表示。

農業生産関連事業の実施状況（経営体数）

指定地域：石川県羽咋市



■ 2010年農業生産関連事業の実施状況

単位：経営体数

出荷先	羽咋市	佐渡市	南魚沼市
農産物の加工	12	137	26
消費者に直接販売	77	486	1,189
貸し農園体験農園等	0	6	8
観光農園	0	4	9
農家民宿	0	15	41
農家レストラン	0	0	7
海外への輸出	0	0	0
その他	0	7	6

- ①羽咋市の農業生産関連事業の実施状況（レーダーチャート）を見ると、石川県と同水準、または、それ以上の水準
- ②佐渡市や南魚沼市は、「農産物の加工」、「消費者に直接販売」に取り組む経営体が羽咋市より多い
- ③佐渡市や南魚沼市は「農家民宿」や「観光農園」なども多く、農産物のブランド化が進むと、地域内の6次産業化が進む

6次産業化の推進のための「多様な販路」と「価格設定」は、今後、生産者、JAはくい、道の駅、市の4者で組織した「はくい式自然栽培実行委員会」において推進

域内及び域外の消費拡大！

1. 分析結果

- (1) 羽咋市の課題は、①農業者の高齢化、②耕作放棄地の拡大、③多様な販路の確保が未整備など、ブランド米先進地（佐渡市、魚沼市）と比較し、6次産業化が遅滞している。
- (2) 米のブランド化は、米の高付加価値化をもたらし、①就農者の生産意欲を刺激し、②耕作放棄地の改善、③米の生産量と収穫量の拡大、④就農者の平均所得の向上が見込まれる。
- (3) ブランド化を図るには、若い就農者が農業に魅力を感じ、安定的な所得が確保できる環境の整備が必要である。

2. 今後の方向性

- (1) はくい式自然栽培米（羽咋米）の高付加価値化戦略は、地域全体の米のブランド化を上げるフラグシップの役割を果たす。
- (2) この効果は、①若い新規就農者の増員、②販路の多様性、③耕作放棄地の減少、④農産物全体の販売額の増収が図られ、農業の6次産業化と成長産業化、域内の経済循環を生み出す。
- (3) 高付加価値化戦略を支えるためには、①品質保証、②収量確保、③生産・販売計画、④販路開拓、⑤就農者が自立できる農業システムの構築が重要である。

3. 「道の駅のと千里浜」を核とした 交流人口の拡大及び地域経済の 好循環に向けた現状と課題、方向性

(1)「道の駅のと千里浜」整備計画

(1) 羽咋の魅力発信 ～観光ゲートウェイ型～

- ① 羽咋の「香・音・彩り」を味わう内外空間
- ② 能登の豊かな食材・食文化の「インデックス」機能
- ③ 砂像展示、体験広場による魅力発信
- ④ 観光案内窓口設置（周辺施設や羽咋・能登の情報発信）
- ⑤ 足湯設置による「ちりはまホテルゆ華」との連携

(2) 羽咋の活力創出 ～地域センター型～

- ① 6次産業化を支援する「物産加工施設」「飲食提供施設」
- ② 地域コミュニティ交流、連携の場
- ③ 多機能な軒下空間（フリーマーケットなど）
- ④ 地域イベント・祭りなどの開催

(3) 羽咋の「つながりの場」の創出

- ① アウトドア・ファミリー層への対応（調整池の広場利用）
- ② 施設本体と挟み込んだマーケット空間を展開
- ③ にぎわいの回遊空間（連続一体型）
- ④ 地域循環バス停留所設置
- ⑤ インナー型トイレによる快適環境、清潔感確保（24H）

(4) 防災機能の充実（一時避難所の機能確保）

- ① 防災エリアの設置
- ② 備蓄倉庫の設置
- ③ 防災用ハイブリッド照明灯を設置
- ④ 非常発電施設・井戸水の整備

出典：羽咋市（仮称）道の駅はくい 施設概要

■計画概要

1. 敷地面積：18,821.16㎡
2. 建築面積：1,305.80㎡
3. 延床面積：1,282.52㎡（本体内部面積 898.19㎡）
4. 構 造：本体棟：鉄骨造、設備棟：RC造
足湯設備：木造、砂像上屋：鉄骨造
5. 階 数：全て平屋建
6. 最高高さ：6.25m

通入施設	内容
駐車場・車路	・駐車場 （普通車（158台）・大型車両（8台）・障害者用（5台））
多目的広場	・砂像展示
防災エリア （遊戯・休憩）	・芝生広場 ・防災施設（一時避難スペース、かまどベンチ等） ・防災用ハイブリッド照明灯
魅力向上施設	・貿易先車路施設 ・EV車急速充電コーナー（1台） ・足湯
調整池	広場として多目的利用を想定
トイレ	・トイレ（24H） 女子（9）、男子（大3、小4）、多目的（2）
授乳室	・授乳室
情報発信施設	・道路情報・観光情報 案内板 ・情報端末 ・展示スペース ・インフォメーション
休憩施設	・ベンチ
物産施設	・物産直売所 ・物産加工施設
飲食施設	・カフェ、フードコート ・彫務
倉庫	・販売物品保管庫 ・防災倉庫
付帯施設	・広空間（露外販売、展示、イベント、通路等） ・事務所等 ・ミーティングスペース（テーブル） ・電気設備室 ・無線LAN（Wi-Fi）

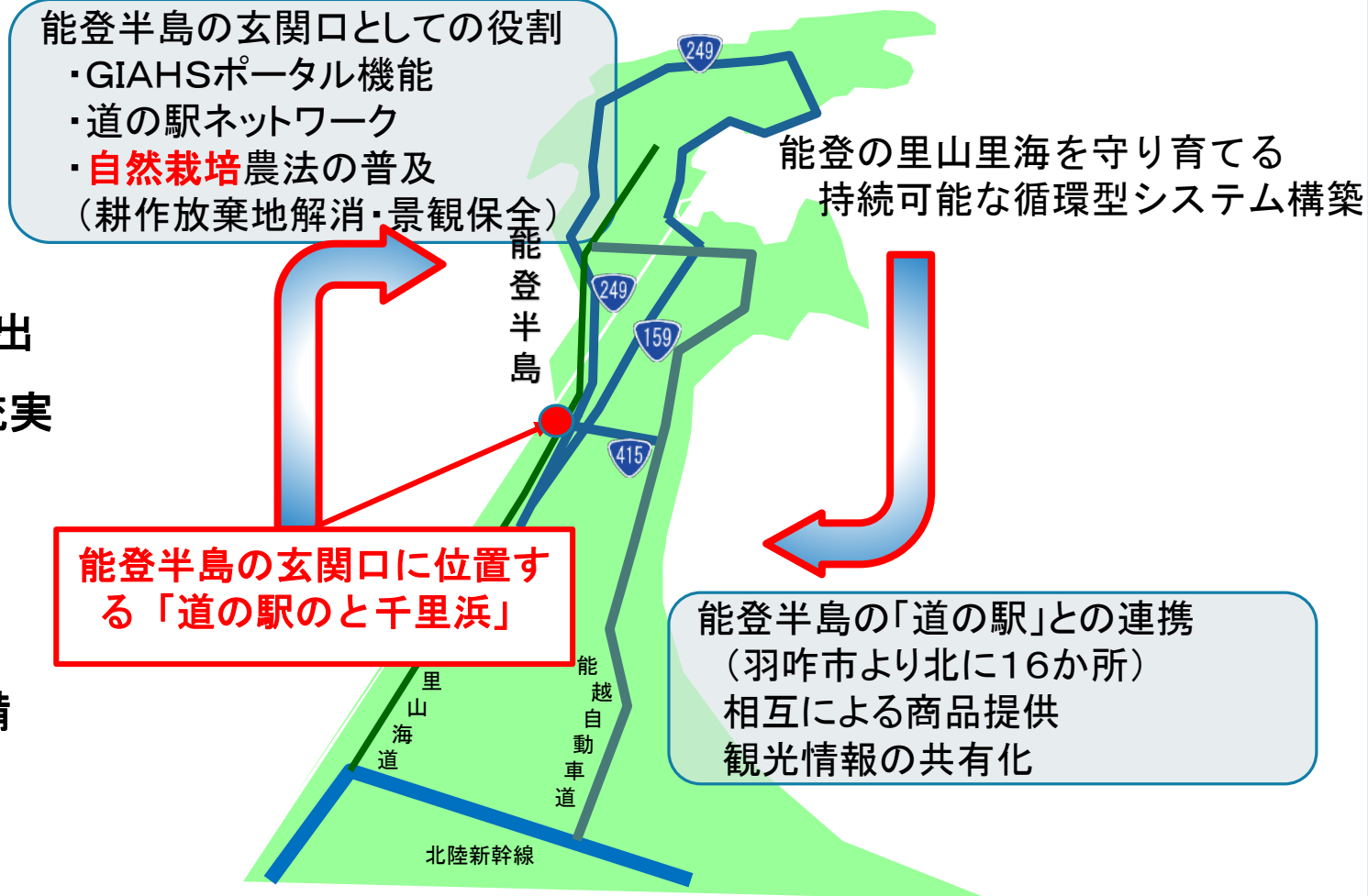
■羽咋駅から約1.5km、のと里山海道千里浜IC付近に設置予定。

■ 目的

- (1)羽咋の魅力・情報の発信
- (2)羽咋の活力(雇用、稼ぐ場)の創出
- (3)羽咋における「つながりの場」の創出
- (4)地域の安全・安心(防災)機能の充実
- (5)地域間交流と連携の推進

■ 手法

- (1)観光客を呼び込める道の駅の整備
 - ⇒ 目的地となる道の駅の建設
 - ⇒ 長時間滞在できる施設
 - ⇒ 地場産品の開発、羽咋オリジナル商品の開発、羽咋でしか食べられない商品の出展



H29.7月7日 「道の駅のと千里浜」オープン



オープン2か月で
レジ通過者10万人達成！！



山辺芳宣
羽咋市長

野間仁
駅長



毎月イベントを開催



オリジナル商品(一部)

(3) 羽咋市における観光の状況

① 羽咋市における観光客数の推移

観光客数

(単位：人)

年	総数	日帰り観光客数	宿泊観光客数
平成23年	2,328,343	2,248,906	79,437
24	2,317,155	2,250,611	66,544
25	2,263,667	2,192,252	71,415
26	2,064,797	1,992,431	72,366
27	2,256,785	2,172,694	84,091

資料：商工観光課
国立能登青少年交流の家の客数を除く

観光地来訪状況

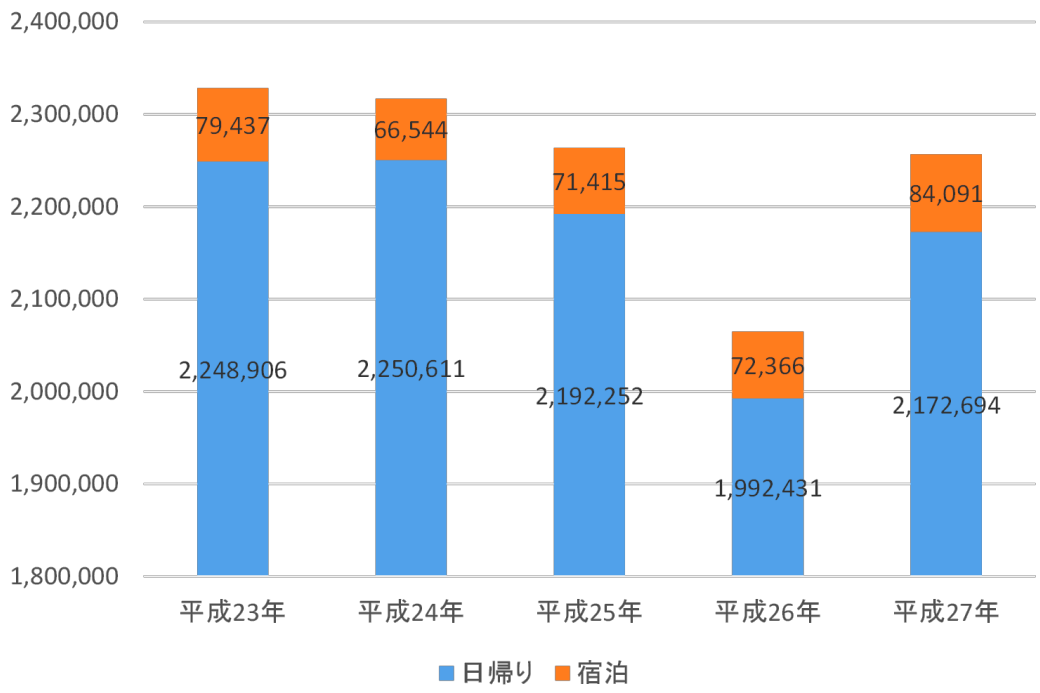
(単位：人)

年	妙成寺	気多大社	なぎさ ドライブウェイ	千里浜 海水浴場	築垣 海水浴場	コスモアイル 羽咋	永光寺	その他
平成23年	39,620	828,722	910,500	12,900	...	57,893	10,232	468,476
24	36,400	829,000	899,700	13,100	...	59,507	9,962	469,486
25	35,800	822,750	856,100	12,300	...	57,669	8,001	471,047
26	39,800	822,750	708,700	9,700	...	53,580	8,381	421,886
27	58,165	822,750	880,400	13,000	...	50,322	9,049	423,099

資料：商工観光課
国立能登青少年交流の家の客数を除く

出典：羽咋市 平成27年度羽咋市統計書

観光客数推移



- ①観光客数は、平成26年は消費税増税の影響で大幅に落ち込む。
- ②平成27年には平成25年並の水準にまで回復しているものの、前述した、北陸新幹線開通に伴う石川県への観光客数増加分を相対的に取り込めていない。

北陸新幹線で金沢に来た来訪者を「どのように羽咋市に来させるか！」の戦略が必要！

(4) 県内における目的地検索ランキング

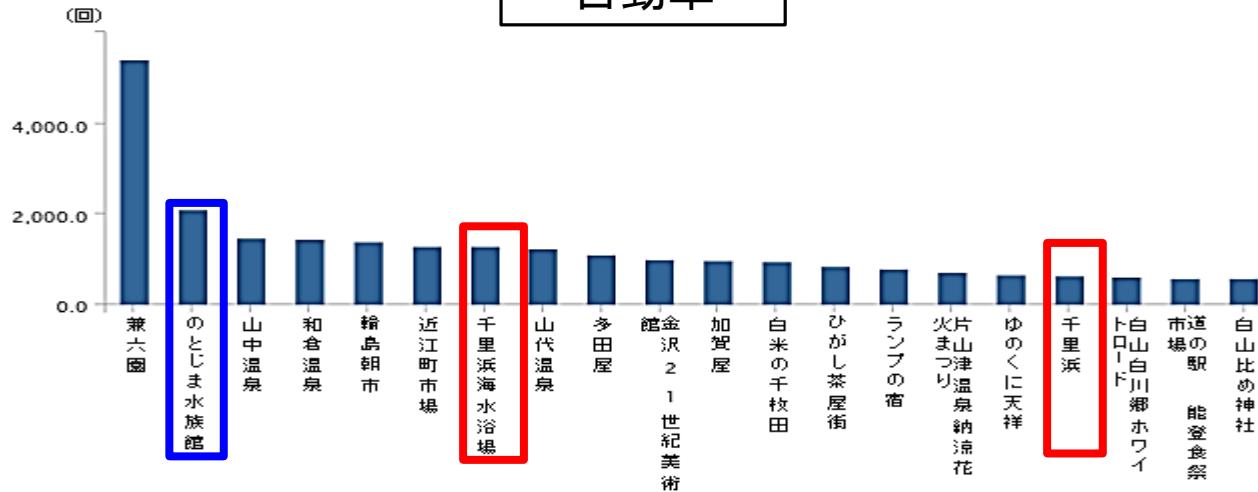
県内における目的地検索回数

指定地域の目的地一覧

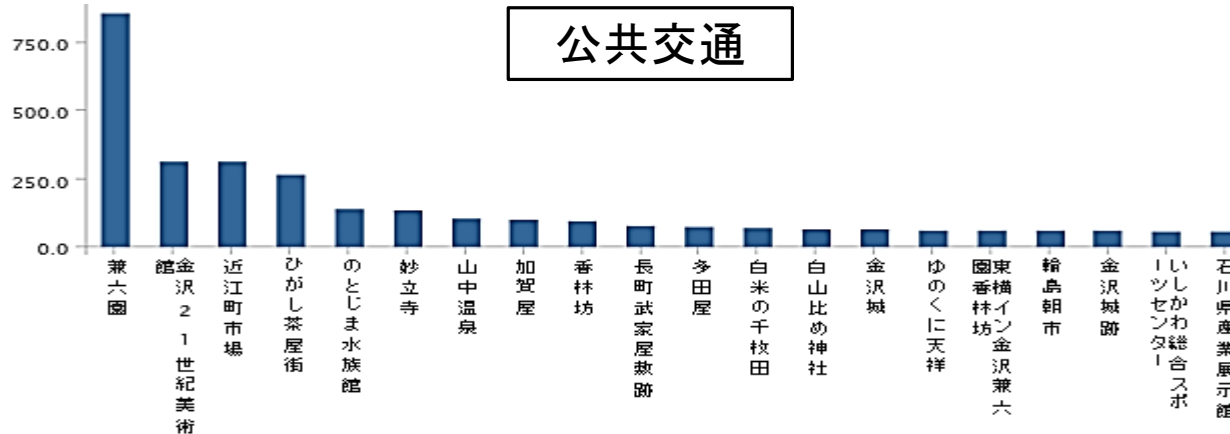
表示年月：2015年すべての期間（休日）

指定地域：石川県

自動車



公共交通



出典：RESASデータ（株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」）

①金沢市内の施設だけではなく、加賀や能登方面も多く検索されている。特に山中温泉・和倉温泉など「温泉」が多く検索されている。

②自動車での千里浜と千里浜海水浴場を合わせた検索回数は、のとしま水族館と同程度であり、県内でも有数の集客力を誇る目的地である。

③公共交通では県内の地点としてランクインしておらず、自動車で訪れる人と比べると公共交通を利用して訪れる人が少ない。

④つまり、現在羽咋市では公共交通を利用した観光客の呼び込み数少なく、北陸新幹線開業の効果を活かしきれていない。

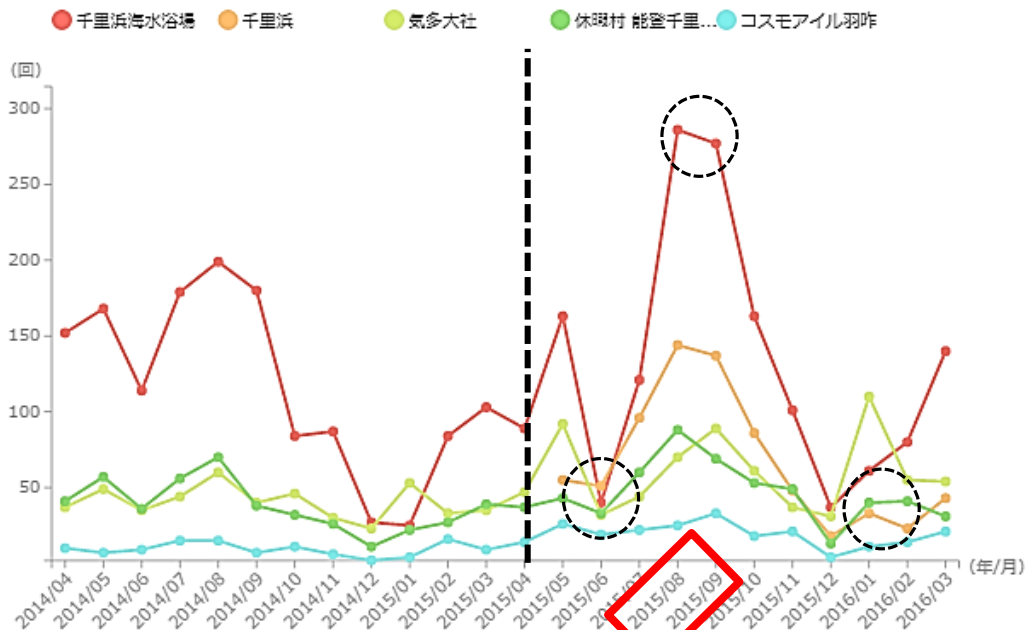
(5) 千里浜に訪れる観光客の動き

目的地検索ランキングの推移

表示年月：2014年4月～2016年3月（休日）

指定地域：石川県羽咋市

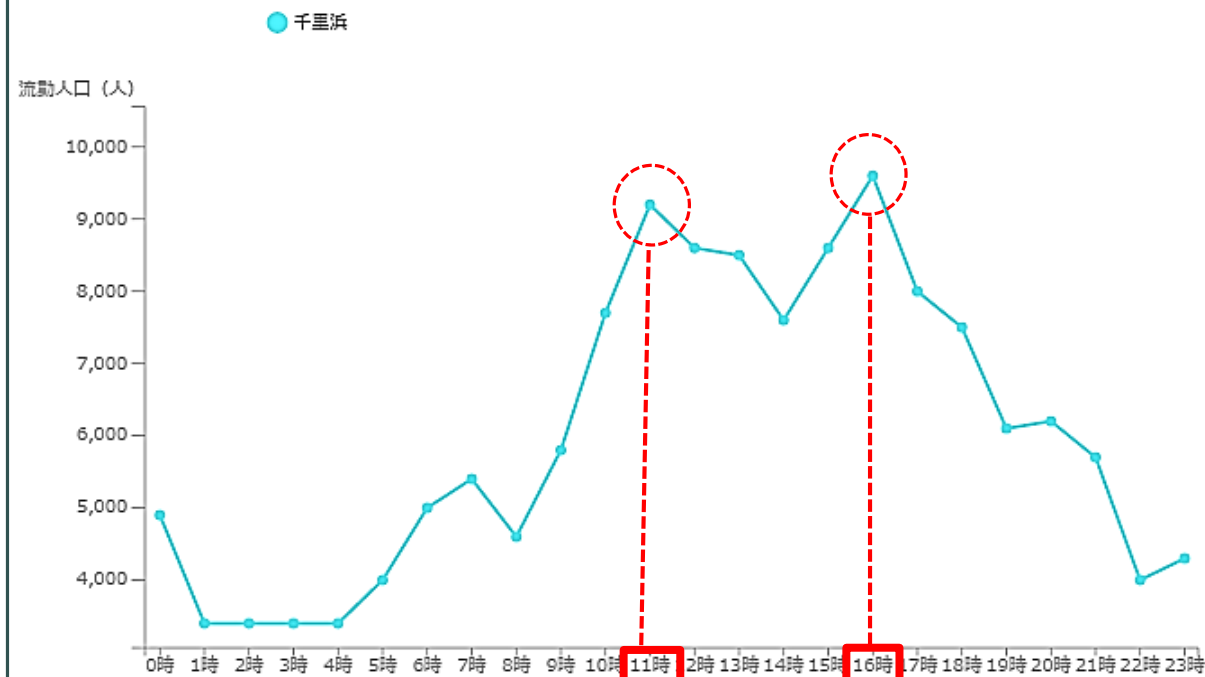
交通手段：自動車



出典：RESASデータ（株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」）

流動人口マップ

2015年（休日）8月 時間帯別推移



出典：RESASデータ（株式会社Agoop「流動人口データ」）

- ①観光客が訪れる時期は、海水浴シーズンに突出している。一方で、前後の時期は検索回数が大きく落ち込んでいる。
- ②シーズン中の千里浜に訪れる人の動きを見ると、昼前と夕方に訪れる人のピークを迎えている。
- ③昼食・夕食時に流動人口が低下しており、飲食の消費が流出している。
- ④以上のことより、観光客が四季を通じて訪れ、また、昼夕食時にも観光客が滞在するような施策が必要である。

1. 分析結果

(1) 石川県全体の観光の状況

- ① 北陸新幹線開通に伴い石川県全体の観光客数は大きく増加
- ② のと里山海道無料化に伴い沿線へのアクセスは向上（約2倍）

(2) 能登の状況

平成27年の北陸新幹線開通年には、能登地域への県外観光客が100万人以上増加

(3) 羽咋市の状況

- ① 羽咋市で観光客を呼び込める最強のコンテンツは「千里浜」である
- ② 千里浜は海水浴シーズンのみ観光客が訪れており、四季を通じた誘客になっていない
- ③ 観光客の滞在時間も短く、昼食、夕食の消費を逃がしてしまっている



羽咋創生の拠点として、「道の駅のと千里浜」が必要！

地域商社「羽咋まちづくり(株)」を核とした地域ビジネス創生・成長戦略 「羽咋共創プログラム」事業

☆H29年第2回地方創生推進交付金申請事業 ■申請区分 先駆タイプ（フラグシップモデル） ■事業期間 H29～H33年度（5カ年計画）

1. 「道の駅事業者」から「地域商社」への成長戦略と機能強化による「羽咋創生」の新展開 地域資源の市場開拓の司令塔となり、地域ビジネスの創造と成長を支援

- | | |
|------------------|--|
| (1) 地域商社への機能強化 | 四万十ドラマ(株)と連携した先導的地域商社となるための事業計画の策定 |
| (2) 地域商社を担う組織づくり | 地域商社機能を担う人材の確保と育成、全国地域商社とのネットワーク構築 |
| (3) 出口戦略に基づく商品開発 | 地域の原材料や技術を活用した付加価値の高い商品（加工品等）の開発、
全国の地域商社や事業者等と連携した地域産品の共同ブランド化 |
| (4) 「地産外商」の推進 | 広域連携ネットワークを通じた地域産品の販路開拓と販路拡大 |
| (5) 「地域総合力」事業の推進 | 自然、観光、食、歴史文化等を生かした地域の全体で稼ぎ、地域の価値の向上につながる事業への支援 |

2. 効果

- (1) 地域経済の活性化と地域内消費の拡大、6次産業化と輸出産業化の推進
- (2) 地域における「自走できる組織の形成」、「稼ぐ仕組みの構築」、「地域の価値向上」



●H29.7.7 開業
「道の駅のと千里浜」



●千里浜なぎさドライブ
ウェイ（年間80万人来訪）



●世界農業遺産



●ちりはまホテルゆ華
温泉宿泊施設（市有物件）



ご清聴ありがとうございました